



利島

Pure Organic
Camellia Japonica
Seed Oil

椿油

Brand File

ブランドファイル

An eternal treasure created by an island living with camellia japonica.
It is a crystal of 300 years of history and tradition.



綿半トレーディング株式会社
Watahan Trading Co.,Ltd.



人口 **332人**
面積 **4.12 km²**
周囲 **7.8 km**

※令和3年12月1日現在

全国の自治体で
人口は**3番目に少ない**
面積は**5番目に小さい**

東京から南へ140km。
はるか昔から、
樁と生きる島があります。



海が穏やかなときの栈橋



©利島村

時化で白波に覆われる栈橋



©利島村

自然に生きる、 美しさを育てる。

自然と共に生きることで生まれる豊かな美しさを、
利島の椿油は知っています。

私たちのふるさとは、島全体が薫る「椿の島」。
300年の間、大切に受け継がれてきたこの土地で
のびのびと育てられた椿の木々。

そこに宿る実は、熟れて自然と落ちるその瞬間まで、
急かされることなくゆっくりと見守られ、
島の人たちの手で、時間をかけ一粒ずつ丁寧に拾われます。
利島の恵とやさしさがいっぱい詰まった椿油は、
使うたびにしっとりと、ひとりひとりが持つ本来の美を、
守り、引き出し、輝かせることでしょう。

この先もずっと、あなたのそばで。

飾らないありのままの美しさを、大事に育てていきます。





永遠の森のしずくは、
300年の間受け継がれてきた
利島の宝です。



What's Toshima Tsubaki 2

椿の栽培

暮らしの一部となって、
美しさを守り継ぐ。

一年を通して行われる椿の栽培は、
生産者にとって暮らしの一部とも言えるかけがえのない存在。
美しい花と種子に次の年も出会えますようにと、
彼らは日々、椿に向き合い続けます。

 日本庭園のように整えられた椿の林。



円錐型の地形で勾配のある利島。椿は、木の成長や種子の収穫のしやすさを考えて階段状に植えられ、生産者たちの手で今日まで守り継がれてきました。日本庭園のように美しいこの景観は、椿が大切に育てられてきた証です。

 丁寧に草を刈り、完熟の秋を待ちます。



夏の利島では、下草を刈る「シタッパライ」が行われます。とても小さくて茶色く、雑草があると隠れてしまう椿の種子。大事に育てた宝物を拾い残すことのないように、真夏の重労働も惜しまず行い、完熟の秋に備えます。

 熟した種子だけを、手でひとつずつ。



秋になり椿の種子が熟すと「トリップロイ」と呼ばれる収穫がはじまります。油を豊富に蓄え熟して弾けた種子を、手でひとつずつ丁寧に拾っていく。生産者たちの根気強い作業が、利島の恵みたっぷりの椿油を支えています。



日本庭園のように整えられた椿の林は、
冬が訪れると、あたり一面花となり
それは幻想的な景色に変わります。

What's Toshima Tsubaki 3

椿油の精製

利島の恵みを、 余すことなく。

利島の椿油は、種子の収穫から搾油、精製、充填、
パッケージングまですべての工程を島内で行っています。

利島の豊かな恵みを余すことなく椿油に込めてお届けするために、
最後の工程までこだわり続けます。



トレーサビリティを叶える「印」の存在。



日本最大級を誇る利島の椿油搾油工場には、島中から、収穫されたたくさんの種子を持ち込まれます。同姓が多い利島では、馴染みのある屋号や印(マーク)を記して出自を管理。島民に寄り添った方法を採用し続けています。

品質を高める選別機械を備えています。



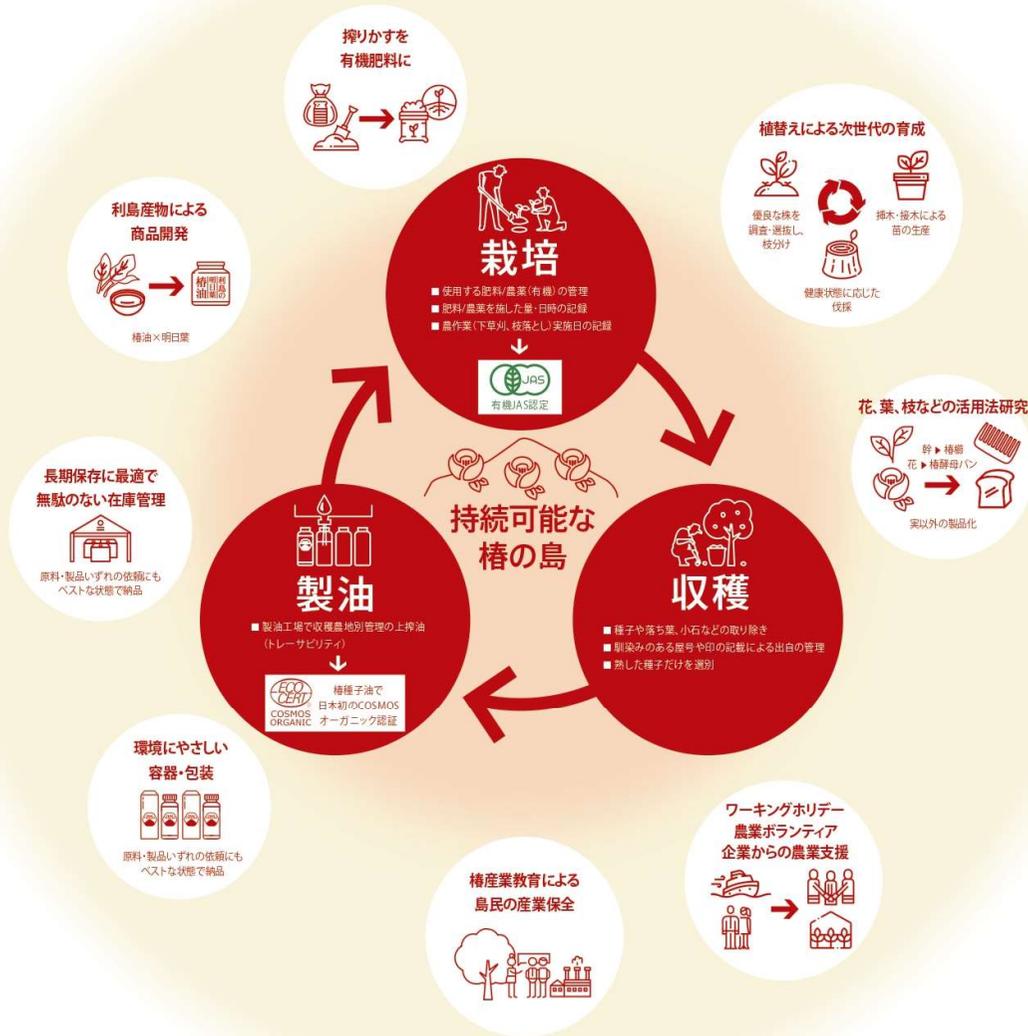
工場では悪くなった種子や落ち葉、小石などを取り除き、熟した種子だけを選別できる機械を備えています。生産者が工場に持ち込む前に選別する手間を、機械が担うことで、良質な種子だけを搾油できる体制を整えています。

新鮮で良いものをお届けするために。



利島の椿油は、上質な油が多く含まれる一番搾り製法にこだわっています。また油が酸化してしまわないよう、搾油された椿油はすぐに精製。お客さまの手に商品が届くまで、鮮度が保たれるように管理が徹底されています。

▼利島の椿産業循環図



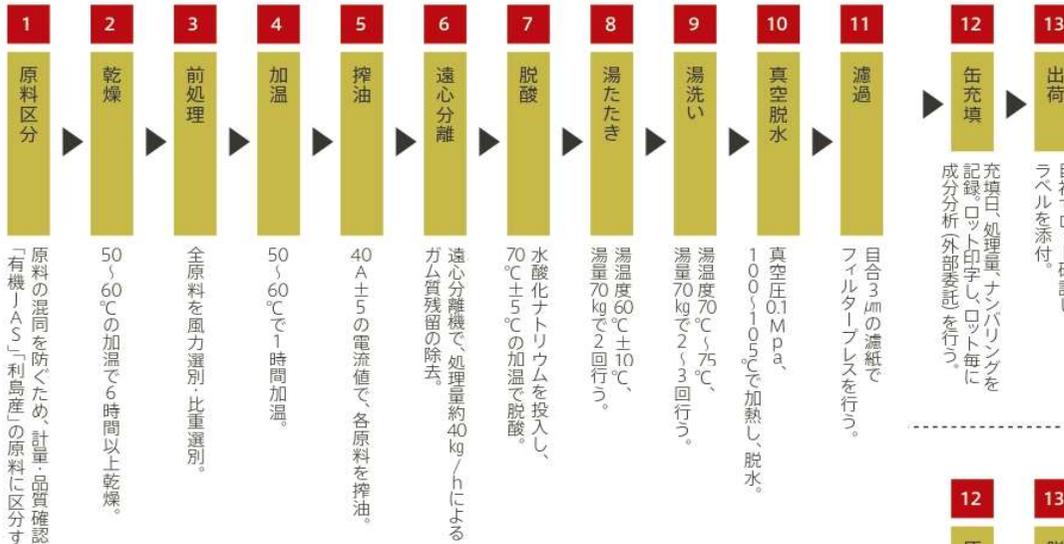
利島椿油 生産工程



脱酸油



脱色脱臭油



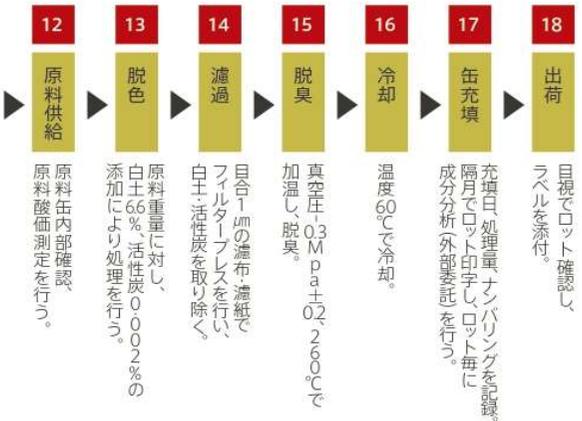
前処理



搾油



濾過



Development of certified products

COSMOS認証取得商品開発

2019年、有機JAS認定されていた利島椿油の一部が「ツバキ種子油」として日本で初めてCOSMOS ORGANIC認証を取得しました。現在は利島椿油すべての認証取得を目指し、トレーサビリティ管理徹底や生産ラインの見直しによる商品開発に取り組んでいます。



COSMOS認証について

COSMOS (= Cosmetic Organic Standard) とは、オーガニックコスメの世界統一基準です。認証基準は「COSMOS ORGANIC (コスモスオーガニック)」と「COSMOS NATURAL (コスモスナチュラル)」の2種類に分類されており、利島椿油はそのうちの「COSMOS ORGANIC」を取得しています。

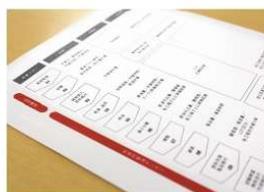
- 内容成分の95%から100%が自然由来の成分であること。
- 植物原料(オイル・抽出物・バターなど)の95%~100%が有機農法、遺伝子組み換えしていない農法によって作られた原料でなければならない。
- 完成品の最低20%は有機農法によって作られた原料であること。(洗い流す製品シャンプーやリンス、コンディショナーは10%でよいと例外があります)
- ヨーロッパの基準で厳格に定められている原料以外の成分は使用できない。そして植物原料以外の成分の使用は内容量の5%以下であること。
- 製品に使われるすべての成分、原料は環境に悪影響を与えない生分解性のものでなければならない。

2019年、利島椿油が「ツバキ種子油」としての認証を国内初取得。



搾り粕の活用で、循環型生産へ前進。

椿油の循環型生産に向けた活動のひとつとして、椿油の搾り粕の再利用に取り組んでいます。例えば、生産者に搾り粕を肥料として使っていただくために、持ち運びやすく、散布しやすいベレット状に加工して提供。作り手の作業負担の軽減も考えた、環境負荷の少ない農園づくりを目指しています。



全椿油のトレーサビリティ管理に向けて。

利島のすべての椿油のトレーサビリティ管理に向け、数々の取り組みを行っています。生産者と園地ごとの収穫量の記録管理はもちろんのこと、新しい苗の育成のための母樹選びにおいても、選定した記録をデータに残し、「苗が良く育つ母樹」をトレースしています。



椿油化粧品として日本初のCOSMOS認証取得を目指して。

2019年に「ツバキ種子油」としてCOSMOS認証を取得し、現在は椿油化粧品としてのCOSMOS認証取得も目指した商品開発に取り組んでいます。新商品「神代椿」では、認証商品ラインとして「神代椿-平-」を新たに発売。今後も搾油方法の改善など、さらなる品質向上に取り組んでまいります。



製品名
島椿（ツバキ油100%）
島椿（脱色脱臭油）
COSMOS ORGANIC ツバキ種子油

利島の椿油について

江戸時代から今に受け継がれる藪椿完熟種子だけを使用した100%植物由来の椿油です。

化粧品表示名称	ツバキ種子油
CAS No.	223748-13-8
INCI NAME	CAMELLIA JAPONICA SEED OIL
医薬部外品原料規格	適
医薬部外品規格コード	002265
内容量	800g/16.5kg
品質保証期限	製造から3年

製品規格	
性状	無色から淡黄色の液体
比重	0.910 - 0.915
酸価	5以下
けん化価	189 - 194
よう素価	78 - 83
不けん化物	1%以下

製品脂肪酸組成 (%)		
パルミチン酸	C16 : 0	7.5
パルミトオレイン酸	C16 : 1	0.1
ヘプタデカン酸	C17 : 0	0.1
ステアリン酸	C18 : 0	2.7
オレイン酸	C18 : 1	85.4
リノール酸	C18 : 2	3.5
リノレン酸	C18 : 3	0.2
エイコセン酸	C20 : 1	0.5

用途

ヘアケア製品

シャンプー、コンディショナー、トリートメント
スタイリング製品、ヘアオイル等

スキンケア製品

サンケア、固形石鹸、クレンジングオイル、洗顔料

特性

人の皮脂成分に近いオレイン酸を多く含みます。
不乾性油のため潤いを長時間保ち乾燥から守ります。



お問い合わせ



利島農業協同組合

TEL : 04992-9 - 0026

100-0301

TEL : 04992-9 - 0258

東京都利島村13番地

<http://www.ja-toshima.co.jp>

東京都新宿区四谷1-4 綿半野原ビル 5F

TEL : 03-3353-2304 (代表) chem@watahan.co.jp